

ひしのみ

【学校目標】 たくましく かしこく とともに生きる

個人懇談 ありがとうございます。

お忙しい中、個人懇談のために時間をお作りいただきありがとうございます。

この懇談の場をかりて、1学期、学校にご相談いただいたり、先日の地区懇談会でご意見いただいたりしたこと、またはご家庭にご協力いただきたいことについて、保護者の方々にお伝えし、ご理解いただくとともに、学校だけでは解決が難しい問題のため、知恵を拝借したいと思い、通信を書かせていただきました。

1 水曜日の下校について

地区懇談会の中で、「水曜日は、一人で下校している。地区での集団下校のはずなのに。」というご意見がありました。そこで、子どもたちに確認したところ、習い事などの関係で水曜日はお家の人に車で迎えに来てもらっている子が多いようです。そのため、地区別の集団下校する人数が減り、早くから一人になってしまっている状況です。今後とも安全指導に力を入れていきますが、ご家庭、地域のお力を借りながら解決できればと思っております。良いお知恵がありましたらお聞かせください。よろしくお願いいたします。

2 放課後習い事に行く子どもの待つ場所について

サッカーやスイミング、野球、バドミントン、バスケットなど、子どもたちは放課後いろいろな社会体育をがんばっているようです。その中で、いったん家に帰る時間がなく、学校の体育館周辺で待っている子をよく目にします。

基本的には、「家に帰ってから行く。」が原則だと思っておりますが、「どうしても」という子のために、体育館の玄関フロア（アリーナ内立ち入り禁止）を開放し、「宿題をして待つ」ことで、大切な時間を効率よく使うように指導しているところであります。

下校後ということもあり、教職員は会議や別業務等で立ち会うことはできず、責任を負いかねる状況です。安心・安全上、大変心配するところでもあります。「どうしても。」という場合のみ、**保護者様の責任の下**、体育館玄関フロアで待たせてください。私の32年間の教職生活で、社会体育や習い事で待っている間に石を投げ合い、怪我を負わせたり、車に傷を付けたりして賠償問題になった事案を経験しております。待たせる場合には、ご家庭でしっかりご指導をお願いします。

3 ゲーム、SNS、ユーチューブの使用時間、終了時刻の決定について

先日の地区懇談会でも、「小学校からのお願い」ということで担当からお話しさせていただいたと思いますが、現在、全国的にゲーム、SNS、ユーチューブの使用時間が問題となっております。夜遅くまでしてしまい、朝起きることができず、それがもとで不登校になったり、SNS上のトラブルに巻き込まれたり。または、中毒化して情緒不安定になるということも起こっております。お子さんの中には、保護者様が就寝された後、夜通し続けていることがあるようです。親よりもお子さんの方がネット社会には詳しいことが多々あります。「ゲームやスマホを21時には親に預けて就寝する。」といった厳しいきまりをご家庭でぜひ作ってください。夏休みになるだけに心配しております。